

平成27年度予算（案）の特色

一般会計

（予算編成方針）

本町の平成26年度における現在の状況は、歳出において社会保障関連の義務的かつ経常的な扶助費の増加に加えて、台風対策および庁舎別館の火災等の臨時的な需要が生じる一方で、歳入においては、地方交付税において普通交付税が平成24年度決算および平成25年度決算を受けて引き続き不交付であることが見込まれ、同様の要因により地方債においても臨時財政対策債発行可能額が算定できず、財源不足を補てんするため財政調整基金から4億円余りを取崩す予算編成となる等大変厳しい状況にあります。

平成27年度の見通しについては、歳入面では新たな税収要素である滋賀竜王工業団地関連の税収入について多くが平成28年度以降となる見込であり、平成27年度は概ね平年ベースとなることを見込まれること、加えて、普通交付税および臨時財政対策債においても平成26年度と同様に見込めない状況です。一方、歳出面においては社会保障関連経費が引き続き増加し、財政の硬直化が一層進行していく中で、重要課題である若者定住や施設の老朽化対策に対応していくことが求められる等一層の財源不足が見込まれます。

このような中で、各事業について公益性の確保や負担の公平性等の客観的な点から評価を行った上で、施策の優先度と緊急性を考慮しつつ効率的で合理的な予算に基づいた計画的な執行が求められ、また、歳入においては使用料や手数料についても聖域化することなく、丁寧な住民説明のもとに積極的な財源の確保に努め、真に自立した行財政運営を実施することができる体質の早期の実現を図ることが必要となります。

つきましては、平成27年度については、平成23年度からスタートした第五次竜王町総合計画の前期計画の終了年度であることから、当初予算編成に当たっては、前期計画期間中に得られた成果と課題を踏まえて、平成28年度以降の後期計画を意識しつつ、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方を基本として、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌めく交竜の郷」をめざして、引き続き第五次竜王町総合計画の基本理念である以下の4項目を基本項目として、縦割りの組織に捉われず関係部局が共通の課題と目標を持ち、連携・協力等を行い、横断的に取り組み、組織の力を最大限に発揮し施策の具体化に向けて取り組みます。

《竜王町が掲げる4つの柱》

- (1)豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2)みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3)チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4)町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

(予算額)

一般会計の総額は、61 億 700 万円とし、前年度に比べ 1,800 万円の減、率にして 0.3%の減としました。

前年度当初予算に比べて減少した要因としては、東近江行政組合南消防出張所移転と併せた町の防災拠点施設の整備に係る事業費 4,223 万 2 千円、農林公園施設の道の駅化に向けた駐車場拡幅に係る事業費 4,930 万円、公共施設等総合管理計画の策定に係る事業費 1,287 万 4 千円を新規で、また、町内の町道および橋梁等インフラ整備についても増額計上したものの、滋賀竜王工業団地造成に係る事業費が 1 億 817 万 8 千円減少したことによるものです。

平成27年度の景気見通しについては、平成27年10月1日からの消費税率引き上げについて景気見通し等により先送りが決定されたとおり、経済成長の流れが鈍化していること、また燻り続ける欧州での金融不安や、東欧および中東地域を含めた武力衝突等の政治的な緊張の高まりによる世界経済に対する影響等によって、一層厳しさが増す状況であることから、国において平成26年度第1号補正予算として地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策が決定される等、再び我が国経済を回復軌道に戻すべく積極的な施策が展開されており、これらに大いに期待を寄せるところではあるものの、引き続き厳しい見通しを持たざるを得ない状況であります。

また、平成26年度の本町における町税収入については、この1月末の段階において、固定資産税について償却資産の回復等により対予算比で4%程度の増収が見込まれる一方で、個人町民税が予算現額に対して1%程度の減収となる見通しであることに加えて、町民税法人税割について、概ね予算どおりとなる平年度ベースの収入となることが見込まれ、大幅な増収となった平成24年度および平成25年度に比べると減収となったこと等により町税全体においては2%程度の増加に止まる見込みであります。

このような状況の中で、平成27年度当初予算については、本町における各行政施策の根幹とする第五次竜王町総合計画の前期の終了年度に当たることから、前期計画期間中に得られた成果と課題を踏まえて、平成28年度以降の後期計画を意識しつつ、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方を基本として、引き続き各施策の具体化に向けて取り組むこと、また本町施策におけるひとつの大きなテーマとしている人口減少問題について、国においてもまち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。以下「創生法」という。）の制定およびこれに規定する地方版総合戦略の策定およびこれに基づく地方の実情に応じた多様な取り組みに対する支援が示されたことを受けて、平成26年度3月補正予算において本町総合戦略の策定に向けた予算および同戦略の策定に先行して取り組む地方創生に向けた事業に要する予算について前倒して計上することとしており、

これと一体的に取り組むことを念頭に、本町の目指すまちづくりの実現に向けた各政策の柱に沿った事業を一層強く推し進めるべく、これらの実施に要する経費等について所要の財源確保が必要であると判断し、その一部を基金の取り崩しにより補てんしつつ予算を編成いたしました。

については、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、第五次竜王町総合計画において目標としている定住人口増加に向けた施策をはじめとする各重要政策に重点的に配分し、一般会計予算は61億700万円で前年度に比べ0.3%の減としたものです。

[歳入]

- ・ **固定資産税**について 702 万円 (0.4%増)、**町たばこ税**について 1,000 万円 (9.1%増) 増加を見込む一方で、**個人町民税**において 310 万円 (0.5%減) の減少、**法人町民税**は、先の税制改正等の要因により前年度当初予算に対して 1 億円 (13.7%減) の減とし、町税としては 8,406 万円 (2.6%減) の減としました。
- ・ **地方譲与税**については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、300 万円 (6.4%増) の増としました。
- ・ 地方消費税交付金等の**県税交付金**については、法人町民税の減収に対する対策とされる**地方消費税交付金**について 1 億 2,000 万円 (66.7%増) の増とし、これを除いたその他の交付金については総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、総じて 1 億 2,080 万円 (51.1%増) の増としました。
- ・ **地方交付税**は、平成 25 年度および平成 26 年度に引き続いて 3 年連続で**普通交付税**が不交付となる見込みとなる一方で、**特別交付税**については直近の傾向を踏まえ 500 万円 (33.3%増) の増としました。
- ・ **国庫支出金**については、滋賀竜王工業団地造成に係る事業費に対する社会資本整備総合交付金の増加および、町防災拠点施設の整備および農林公園施設の道の駅化に向けた駐車場整備に係る社会資本整備総合交付金が皆増、加えて竜王幼稚園施設のトイレ改修を中心とした大規模改造工事に係る施設環境改善交付金が皆増すること等により国庫支出金全体で 4,293 万円 (7.3%増) の増としました。
- ・ 求められる行政需要に対して国庫支出金等に加えて、各特定目的基金からの繰入金の充当等これらの特定財源を確保してもなお不足することが見込まれる財源不足額を補てんするため、**財政調整基金**から 4 億 6,817 万 8 千円 (16.5%増) の繰入金を計上しました。
- ・ **諸収入**については、滋賀竜王工業団地整備に係る事業分を減額し計上したこと等により 1 億 2,212 万 7 千円 (13.4%減) の減としました。
- ・ **町債**は、適正な町債残高の維持に留意しつつ、将来の住民に渡って等しく負担を求めるべき経費への充当分として 1 億 3,720 万円 (20.2%減) を計上しました。

[歳 出]

- ・ **議会費**は、本町の多様な行政課題に対する議員としての知見の向上を図るべく、各委員会の所管事務調査として議員研修事業を減額しつつ引き続き計上したものの、町議会議員の改選に係る経費等の増により 1.5%増加しました。
- ・ **総務費**は、基幹系システム開発管理事業の増および第五次総合計画策定事業、地域おこし協力隊事業、妹背の里管理運営事業、町議会議員選挙費、県議会議員選挙費等について増加したものの、(仮称)竜王消防出張所整備事業、篠原駅周辺都市基盤整備事業、住民基本台帳ネットワーク整備事業および知事選挙費等が減少したことにより 7.3%減少しました。
- ・ **民生費**は、社会福祉協議会活動事業、自立支援給付費、障害者施設整備等事業、国保特別会計(事業勘定)繰出、後期高齢者医療費、ふれあい相談発達支援事業、保育所運営費が増加したものの、地域生活支援事業、臨時福祉給付金事業、高齢者福祉施設等整備事業、子育て世帯臨時特例給付金事業が減少したこと等により 0.4%減少しました。
- ・ **衛生費**は、八日市布引ライフ組合(斎苑)負担金および結核検診事業が減少したものの、健康増進事業、八日市布引ライフ組合(衛生)負担金および中部清掃組合負担金が増加したこと等により 4.0%増加しました。
- ・ **労働費**は、緊急雇用創出特別推進事業の減少により 22.5%減少しました。
- ・ **農林水産業費**は、緊急雇用創出特別推進事業および日野川流域土地改良区負担金が減少するものの、農地流動化等推進対策事業、環境保全型農業直接支払交付金事業、農林公園施設整備事業、多面的機能支払交付金事業についてそれぞれ増額し計上したことに加えて、農業基盤整備事業および県営日野川土地改良事業を新規に計上したこと等により 38.5%増加しました。
- ・ **商工費**は、観光費・一般管理について減少するものの、町内企業における地域経済の活性化に向けて、また第五次竜王町総合計画における定住人口の増および若者定住の実現に向けて定住促進住宅新築・リフォーム助成事業を引き続き計上したこと、またふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金を追加したこと等により 0.3%増加しました。
- ・ **土木費**は、都市計画総務費・一般管理および公共下水道事業繰出金等について増額した一方で、滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費を減額計上したこと等により 7.5%減少しました。
- ・ **消防費**は、消防自動車整備事業が減少するものの、滋賀県防災行政無線の整備に係る負担金や防災基盤整備事業が増加すること等により 18.1%増加しました。
- ・ **教育費**は、両小学校教育振興事業が減少したものの、小学校でのすこやか支援員

の配置を新規に計上したことに加えて、小学校教育用コンピュータ整備事業および竜王幼稚園施設整備事業その他各教育施設における施設整備費等について増額計上したこと、さらに、35人学級化実施のための町単独費による小中学校への嘱託講師（3名）の配置について引き続き計上したこと等により3.3%増加しました。

- ・公債費は、4.6%減少しました。今後も引き続き計画的な投資的事業の実施の下で適正な町債残高の維持に努めて参ります。

(主な事業)

◆第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類

「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

- ・多面的機能支払交付金事業 5, 244万6千円
農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動等に対する支援
- ・【新】農業基盤整備促進事業 448万2千円
農業用施設の維持補修工事
- ・田んぼの学校推進事業 18万円
田んぼの学校推進事業委託料（竜小・西小）

「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

- ・基幹系システム開発・管理事業 6, 505万8千円
行政情報システムクラウド共同利用事業および社会保障・税番号制度実施に係るシステム整備
- ・【新】公共施設等総合管理計画策定事業 1, 287万4千円
公共施設等総合管理計画策定業務委託料
- ・交通安全施設等維持修繕事業 725万円
防犯灯移設および道路照明灯他灯具交換（LED化）他
- ・社会福祉協議会活動事業 3, 284万3千円
社会福祉協議会交付金（地域福祉コーディネーターの設置経費含む）
- ・障害者施設整備等事業 851万3千円
重度心身障害者の支援施設通所に係る負担金、やまびこ福祉会による施設整備に係る補助
- ・保育所運営費 1億9, 852万6千円
保育所運営に係る負担金

- ・【新】放課後児童クラブ開所時間延長支援事業 307万8千円
放課後児童クラブ開所時間延長支援補助
- ・公害対策費・一般管理 612万3千円
河川および工場排水等水質分析検査、騒音分析検査、臭気分析検査
- ・消防・防災無線保守管理費 730万9千円
県防災行政無線および消防救急無線のデジタル化に対応する経費
- ・防災基盤整備事業 4,543万2千円
町防災拠点施設整備工事、自主防災組織強化施設整備事業補助金他
- ・介護保険特別会計繰出金 1億1,883万8千円
介護給付費分等支給のための介護保険特別会計繰出金
- ・後期高齢者医療費 1億4,393万8千円
後期高齢者医療負担金、後期高齢者医療特別会計繰出金
- ・小学校教育用コンピュータ整備事業 1,204万1千円
教育用コンピュータのリース更新整備、修理費等
- ・竜王幼稚園施設整備事業 2,996万2千円
幼稚園便所改修工事

「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

- ・【新】地域おこし協力隊事業 815万5千円
地域の活性化に意欲のある都市住民を受け入れ、観光振興等を創造するとともに、定住・定着を図る
- ・定住促進住宅新築・リフォーム助成事業 1,000万円
定住促進のための住宅新築およびリフォーム助成事業
- ・農林公園施設管理事業 6,996万8千円
施設指定管理料および道の駅化に向けた駐車場の拡幅
- ・竜王インター周辺地区整備費 8億5,190万円
竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点へのアクセス道路の整備等
- ・道路橋梁整備事業 1億181万5千円
橋梁長寿命化修繕工事、町道舗装改良工事等
- ・【新】中学生海外派遣研修事業 291万7千円
スーサー・マリー市への派遣交流

- ・篠原駅周辺都市基盤整備事業費 693万6千円
 国の交付金を活用した篠原駅周辺の基盤整備等
- ・定住化促進事業 30万円
 地区計画等策定業務委託料

「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

- ・【新】町制60周年記念事業 203万4千円
 町制60周年記念式典開催に係る経費
- ・【新】第5次総合計画策定事業 250万円
 第5次総合計画前期計画の評価および後期計画策定に係る経費
- ・まちづくり活動支援事業 250万円
 まちづくり活動に対する補助（町制60周年を記念して行う事業に対する補助を含む。）
- ・妹背の里管理運営事業 4,236万2千円
 施設指定管理料および屋根修繕工事
- ・【新】スーセイ・マリー市友好親善使節団受入事業 157万5千円
 スーセイ・マリー市からの友好親善使節団の受入
- ・【新】竜王町産業フェア開催事業 170万円
 第13回産業フェア開催事業補助金
- ・【新】ふるさと竜王夏まつり事業 250万円
 ふるさと竜王夏まつり実行委員会への補助
- ・ふるさと文化振興事業 97万2千円
 文化団体への補助・文化祭実行委員会補助金
- ・生涯スポーツ推進事業 709万6千円
 社会体育振興業務委託、夏期巡回ラジオ体操会開催に係る経費

「その他」

- ・【新】議員改選関連経費 36万2千円
 町議会議員の改選に伴う経費
- ・【新】県議会議員選挙費 611万6千円
 県議会議員選挙経費

- ・【新】町議会議員選挙費 9 7 9 万円
町議会議員選挙経費
- ・議員研修事業 1 3 2 万 4 千円
各委員会の所管事務調査
- ・地籍調査事業費 1, 5 0 2 万 5 千円
地籍調査測量業務の委託等
- ・基幹統計調査事業 6 1 0 万 8 千円
国勢調査、経済センサス調査区管理・農林業センサスの集計結果確認他
- ・固定資産評価替調査事業 3 3 6 万 3 千円
固定資産評価替調査業務委託料等